



乙島っ子

令和3年度 NO. 9

令和3年 5月21日 倉敷市立乙島小学校

「体験」してこそ分かること

学習においては、「分かる」→「できる」もあれば、「できる」→「分かる」もあると考えられます。5月12日（水）の5校時、3年ろ組では、1人1台端末を活用した国語科の授業公開が行われました。教師によって説明的文章の本文が各自のパソコンに映し出され（見える）、画面を指でなぞり大切なところに色別の線を引き（できる）、それを全体で確認し内容の理解が図られていきました（分かる）。こうした学習は、ノートと鉛筆を使ってもできることですが、「やり直しの利く状況で、即座に、容易に」自分の考えがもて、それを画面上で交流、共有できるという点で、有利性もあれば、上図のように、「授業→日常・家庭」での活用も期待されます。

文部科学省が進める
GIGA スクール構想

新しいICT環境 クラウド



見える→できる→分かる



鉛筆以上にできること



授業→日常での活用を

「校区たんけん」に行きました(3年生)

5月13日（木）には、3年生による「校区たんけん」が行われました。児童が東、西、南の三つのコースに分かれ、施設や建物、土地の使われ方について、「見る・聞く・触れる・感じる」などの「体験」を通して学びました。児童は、それらの「体験」によって学んだことをメモに収め、各コースの探検結果を拡大マップに集約する中で、乙島小学校校区のいろいろな特徴や魅力が「分かる」ようになることが期待されます。



東：玉島東公民館にて



東：玉島病院付近



西：円乗院の本堂にて



西：日本遺産・西爽亭にて



南：泉谷の大井戸にて



南：乙島の歴史を知る